

孫育て・孫との時間

じいじ、ばあばは頼りになる「サポーター」

育児環境が大きく変わった現代。祖父母世代は今の子育てや親世代の考え方が分からず、また、親世代も祖父母世代の発言や行動にギャップを感じたりすることもある。

子育ての中心である親世代は、自分たちの子育ての考え方や、最近の子育て情報を夫婦間だけでなく、祖父母とも共有しておくお互いに戸惑いも少なくなります。



育児de世代ギャップあるある

妊婦は動いちゃダメ？

妊婦は二人分の栄養をとって、動いちゃダメ!というのはひと昔前のお話し。安定期に入ると適度な運動をおススメしています。ただ、無理は禁物。遠足の旅行などは避けたほうが無難。

「ふう〜ふう〜」っていいの？

熱い食べ物を冷ますための「ふう〜ふう〜」や、食材を細かくするためのかみ与えは、虫歯菌や歯周病菌の感染の予防上、今の子育てでは避けるように言われています。

日光浴っていいことばかり？

以前は「赤ちゃんには日光浴を」という風潮がありましたが、今は逆に紫外線に注意をする時代。紫外線が強い午前10時〜午後2時の外出を避けたり、UVカットの帽子をかぶせたり紫外線対策が必要です。

抱きぐせがつくの？

抱きぐせはつきません。泣くのは何かを要求しているサイン。抱っこして赤ちゃんの要求を探り、それを解決すると、赤ちゃんは安心感を得ることができます。親が忙しいときは、祖父母が代わって抱っこ)



良いじいじ・ばあばを演じなくていい。

祖父母にも予定もあれば、体力や家計の都合もあります。子育てのサポートは無理ない程度に一步控えて見守りを。

じいじ・ばあばの口出しも孫への愛情があっころ。パパママも甘え過ぎず、祖父母の都合や気持ちを確かめながら、感謝の気持ちを忘れずに(^_^)!



こんな場面では…?

孫が反抗期…

子どもの成長に必要な段階。しかったときに目つきが変わるような時も毅然(きぜん)とした態度で、なぜ悪いのかを穏やかに説明しましょう。思春期もそっと見守り、会話を強要したり、「親のしつけが悪い」と言ったりしないで。

おもちゃやゲーム、スマホをせがまれる…

つい孫から甘えられると買ってしまふ、あるいは、親も祖父母に購入を期待することもあると思います。本当に今、必要かどうか、買ったあとの生活リズムへの影響なども親・祖父母と一緒に話し合しましょう。

